

～同推だより～

# 出 会 い

【編集】

散岐地区同和教育推進協議会

【発行日】

令和5（2023）年9月25日

《第31号》



テーマの設定については、4年ぶりの実施にあたり、今一度、身近で重要な同和問題を取り扱いたいとの思いを込めています。皆さんがお互いに声を掛け合っただけでとありがたいです。

なお、当日は、念のため、マスク着用等の感染対策を取ってのご参加をどうぞよろしくお願い致します。

## 小地域座談会へのご参加を

～4年ぶりの実施に向けて～



散岐地区同和教育推進協議会  
会長 野際 章人

現在、散岐地区同和教育推進協議会では、この数年間新型コロナウイルス感染症の影響により控えていた小地域座談会の実施にむけて、準備を進めています。

今後ですが、10月5日（木）の19時から散岐地区公民館で、部落長、対話者、同推協の役員の皆さんによる事前打合せを行います。その後、11月末にかけて、各部落で座談会を実施するよう予定しています。

今回の座談会で扱うテーマは、同和問題です。DVD「あなたに伝えたいこと」を視聴して、皆さんと理解を深めていきたいと考えております。

ここで、本DVDのあらすじを簡単にご説明させていただきますと思います。この物語の主人公は、若い女性です。彼女は、自分の祖母や母が、同和問題でつらい経験をして来たことを知ります。彼女の結婚話を中心に、恋人や友人、家族等の関わりを通じて、インターネット上だけの情報

だけでなく、実際に人と触れ合う中でお互いを正しく知ることが、同和問題だけでなくあらゆる差別をなくしていくために重要であることを、明るい希望とともに伝えていきます。

### ◆ 令和5年度 散岐地区同和教育推進協議会役員・評議員名簿 ◆

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
会 長	野際 章人	評議員	下田 和実	評議員	竹内 祐介	評議員	岡山 毅
副会長	中村 晃	//	山田 和志	//	前田 晋	//	山田 勝好
//	前田 和美	//	倉持 久男	//	桜田 邦広	監 事	西尾 敦
推進員	坂根 和夫	//	大門 康裕	//	中村 晴彦	//	中山 豊一
//	前田 武志	//	湖山 晶子	//	前田 厚彦	幹 事	坂本 真由美
//	小川 孝	//	浦田 文久	//	大谷 太志		
		//	徳田 輝美	//	中山 勝廣		(25名)

## 差別の歴史から深く学ぶ

◇ 人権啓発視察研修会 ◇

人権啓発推進事業として、視察研修会を7月29日（土）、兵庫県姫路市で実施しました。

かつて、皮革をなりわいとして被差別部落の生活を支えてきた歴史等について、ガイドの方の説明や展示物を見ながら学習を深めました。

参加された方々の感想を掲載します。

●この産業の始まった頃は、ほとんど手作業だったかと思われませんが、付着している汚物を取り除く等の初期の仕事も、被差別部落の方がしておられたようにお聞きしました。差別に耐えながらも生活していたかと思うと、申し訳なく思います。不当な「差別」がなくなればと思います。

●これまでに姫路が革製品で有名なことは、なんとなく耳にしていたのですが、今回の研修先である『革の里』でお話を伺い、初めて知ることがたくさんありました。美しい革がなぜこの地で盛んになったのか、その歴史を知り、携わって来られた方々に思いを馳せることができました。現地へ訪れることで、地元の方と触れ合うことの大切さを再認識しました。ありがとうございました。



視察研修の様子

## ～ 新役員の紹介 ～

副会長 前田 和美

本年度から散岐地区同和教育推進協議会副会長を務めさせていただくことになりました。

以前は、年を経るにつれ人権問題が解消されていくものと思っていましたが、実際には多くの人権問題が次から次へと浮き彫りになってきているのが現状です。しかし、見過ごされてきた人権問題にいろいろな角度から光が当てられ、社会全体で解消されてきているのも現実です。これもひとえに、部落問題解消に向けての取組みの成果であると考えています。

一人ひとりが住みよい地域にしていくためにも、身近なことに目を向けながら、みんなで楽しく考えていけたらと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

- 『革の里』では、なめし技術の歴史を知ることができました。渡来人を初めとして多くの人々はその技術を伝え、守り、受け継いでいったことに感銘を受けました。古くより姫路で皮なめしが盛んとなった理由として、地形や物資等の好条件がそろっていたからでしょうが、人々の努力があればこそと思いました。
- 今回の研修でも貴重な体験をさせていただきました。なぜ、姫路の地に皮革が定着したのか、歴史も交えて知ることができました。

推進員 坂根 和夫

今年度から同推協の推進員をすることになりました。

部落差別をはじめ、さまざまな差別がまだにあります。最近では、「インターネットによる差別」や「LGBTQの方々への人権」がよく取り上げられています。

近年、差別の解消に向けた法律が成立・施行されていますが、まだ人々に理解されていないのではないかと思います。

もう年だからと思いましたが、今後、若い人たちが出てくるまで、散岐地区の一人としてこの問題に関わっていきたいと思います。

具体的には、人権講演会や小地域座談会等を通じて、人権に関する話が広がり、住民の皆さんの人権意識が向上できるお手伝いができたらと思います。

## ～編集後記～

9月に入っても連日の暑さで、体への負荷が知らず知らずのうちにかかっているのではないかと思います。

本号が皆さんのお手元に届く頃には、少しでも気候が涼しく、過ごしやすくなっていただきたいと思います。

皆さんが、疲れを溜めないようにくれぐれも体調管理に気を付けてください。

(T. O)

